

2023年度

青山学院大学大学院
国際マネジメント研究科
履修証明プログラム
サステナビリティ・マネジメント講座

学生募集要項

A B S
Aoyama Business School

Aoyama Gakuin University

青山学院スクール・モットー

地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、
神と人にとしえ社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おのおのの立場において、
時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

国際マネジメント研究科のミッション

国際マネジメント研究科は、
キリスト教の教育理念に基づき、
社会的責任（Social Responsibility）を果たし、
地球市民（Global Citizen）として活動する
創造的リーダー（Creative Leader）の養成と、
時代をリードする研究活動を通して、
豊かな未来を切り拓くことに貢献する。

1. 講座の目的

サステナビリティ、ESG、SDGs 等に関するニュースを耳にしない日はありません。企業が取り組むべきサステナビリティとは何か、本質的な議論を基に、昨今の潮流、タクソノミー、ガイドライン、規制や規格等を理解しながら、サステナビリティを織り込んだ企業戦略や事業計画の立案の策定が可能なエキスパートおよびオフィサーの養成を目的としています。

2. 教育課程

次ページの「プログラム詳細」に示す授業を受講した上で、授業への貢献度、出席率、最終報告などの要件を満たした方に履修証明書が交付されます。

カリキュラム概要

ベーシック科目 (全5回)

- イントロダクション
- 2つのアクティビズムの台頭とガバナンス改革
- SDGs ゲーム
- キリスト教に基づくサステナビリティ

コア科目 (理論およびケースディスカッション) (全20回)

- サステナブル・ファイナンス
- サステナブル・マーケティング
- サステナブル・ビジネスのケース討議
- サステナブル・ストラテジック・マネジメント
- サステナブル・オペレーションズ・マネジメント
- 人的資本マネジメント

アドバンスト科目 (全17回)

- | | |
|-----------|----------------------|
| 人権 | サステナビリティ・ガバナンス |
| 環境 | 役員報酬 |
| レジリエンス | インベスター・リレーションズ |
| 人的資本と企業価値 | ESG 投資家 |
| 貧困問題 | サステナビリティ・マネジメントの海外動向 |

中間発表 (全2回)

最終発表 (全4回)

合計：48回 (72時間)

プログラム詳細

No	日	時限		講師	内容
1	9/17(日)	2限	10:40~12:10	伊藤 晴祥	イントロダクション、コース概要、サステナビリティ経営について
2		3限	13:00~14:30	北川 哲雄	2つのアクティビズムの台頭とガバナンス改革
3		4限	14:40~16:10	福田 徹	SDGs ゲーム アイスブレイクとして、チーム対抗でSDGs視点でまちづくりを考えるオリジナルのビジネスカードゲーム(SDGsスーパーシティゲーム)を実施
4		5限	16:20~17:50		
5	9/24(日)	3限	13:00~14:30	細田 高道	サステナブル・オペレーションズ・マネジメント I 持続的視点からのサプライチェーン戦略(1) サプライチェーン概論と持続的視点から見た課題点を理解する
6		4限	14:40~16:10		サステナブル・オペレーションズ・マネジメント II 持続的視点からのサプライチェーン戦略(2) サプライチェーン・シミュレーションを体験いただき、持続的社会的実現に向けた問題の複雑さを理解する
7	10/1(日)	2限	10:40~12:10	細田 高道	サステナブル・オペレーションズ・マネジメント III リサイクル・廃棄とオペレーション(1) 最新の事例を交えながら、根本的問題点を優しく解説
8		3限	13:00~14:30		サステナブル・オペレーションズ・マネジメント IV リサイクル・廃棄とオペレーション(2) 最新の事例と研究成果を交えながら、今後の方向性について議論
9		4限	14:40~16:10	夫馬 賢治	気候変動 TCFD、SBTi、PCAF、カーボンクレジット、トランジションプラン
10	5限	16:20~17:50	自然資本 TNFD、SBTs for Nature、PBAF、生物多様性クレジット		
11	10/8(日)	2限	10:40~12:10	岩田 宣子	今日における IR 活動の実質的な展開について -ESG、取締役会との関わりなど
12		3限	13:00~14:30	宮地 真紀子	アクティビストとの対峙-サステナビリティと株主提案 アクティビストの活動事例、ターゲット企業の特徴、企業防衛におけるポイントと実際のアクション
13		4限	14:40~16:10	工藤 拓毅	レジリエンス エネルギー・レジリエンス強化の背景と目的、今後の課題
14	10/15(日)	4限	14:40~16:10	伊藤 晴祥	サステナブル・ファイナンス I 関連する規制やガイドライン、サステナブルファイナンスの具体的な手法、学術研究のレビュー
15		5限	16:20~17:50	伊藤 晴祥	サステナブル・ファイナンス II ケース 1: サステナビリティに関する情報開示

16	10/22 (日)	1 限	9:00～10:30	高山 与志子	ESG におけるガバナンスのフレームワークとコーポレートガバナンスに対する考え方
17		2 限	10:40～12:10		サステナビリティ経営と取締役会 ～サステナビリティに対する取締役会の監督機能の発揮～
18		3 限	13:00～14:30	宮副 謙司	サステナブル・マーケティング I 企業の地域における SDGs 対応 (1)
19		4 限	14:40～16:10		サステナブル・マーケティング II 企業の地域における SDGs 対応 (2)
20		5 限	14:40～16:10		井川 智洋
21	10/29 (日)	3 限	13:00～14:30	伊藤 晴祥	サステナブル・ファイナンシャル・マネジメント III ケース 2: インパクト投資
22		4 限	14:40～16:10		サステナブル・ファイナンシャル・マネジメント IV ケース 3: サステナビリティを織り込んだ企業価値評価
23		5 限	16:20～17:50	島田 由紀	キリスト教とサステナビリティ キリスト教的理念に基づく世界のリーダーの言葉をもとに、キリスト教思想における持続可能な社会の構想について考察する
24	11/5 (日)	2 限	10:40～12:10	北川 哲雄 伊藤 晴祥	中間発表
25		3 限	13:00～14:30		
26		4 限	14:40～16:10	黒岩 健一郎	サステナブル・ビジネスのケース討議 サステナビリティに巧みに対応している企業を取り上げ、そのビジネスがどのような条件で成立しているのかをケースメソッド方式で学ぶ
27		5 限	16:20～17:50		
28	11/12 (日)	2 限	10:40～12:10	中野 勉	サステナブル・ストラテジック・マネジメント I サステナビリティと企業戦略—リニアからサーキュラーへのマネジメントの展開
29		3 限	13:00～14:30		サステナブル・ストラテジック・マネジメント II サーキュラー・エコノミーからのモデルと実践のフレームワーク
30		4 限	14:40～16:10		サステナブル・ストラテジック・マネジメント III サステナビリティ・マネジメントの実践と戦略:自動車産業を中心に
31		5 限	16:20～17:50		サステナブル・ストラテジック・マネジメント IV グループプレゼンテーションと今後の課題
32	11/19 (日)	3 限	13:00～14:30	須田 敏子	人的資本マネジメント I 国際比較からみる日本型人材戦略の特色
33		4 限	14:40～16:10		人的資本マネジメント II SHRM 研究に基づく人的資本の構築方法(1)
34		5 限	16:20～17:50	林 寿和	インパクト投資・インパクト志向・インパクト加重会計:海外動向を中心に
35	11/26 (日)	2 限	10:40～12:10	前田 翔三	欧州サステナビリティ・CSR 政策の最新動向(欧州開示政策、そして“ブリュッセル効果”と如何に向き合うか)
36		3 限	13:00～14:30	須田 敏子	人的資本マネジメント III SHRM 研究に基づく人的資本の構築方法(2)
37		4 限	14:40～16:10		人的資本マネジメント IV SHRM 研究に基づく人的資本の構築方法(3)
38	12/3 (日)	3 限	13:00～14:30	阿部 直彦	役員報酬 I 日本企業の役員報酬改革の現状、業績連動性の有無
39		4 限	14:40～16:10	野地 もも	役員報酬 II サステナビリティを踏まえた役員報酬制度、その効果と課題
40		5 限	16:20～17:50	高田 絵梨	貧困問題 日本の子どもの貧困、貧困対策における企業と NPO の連携

41	12/10(日)	1限	9:00~10:30	松原 稔	投資家のサステナビリティの取組 企業価値とは何か
42		2限	10:40~12:10		ESG投資の実務 ESG開示・対話・評価のポイント
43		3限	13:00~14:30	境 睦	人的資本に関する情報開示における国内外の最新動向 人的資本と企業価値との関係
44		4限	14:40~16:10	森本麻衣子	サステナビリティと人権 企業活動における人権尊重の世界的潮流を法的観点(ハード・ロー、ソフト・ローともに)から概観し、特に国連「ビジネスと人権に関する指導原則」で示された考えに沿って個別ケースを議論する
45	12/17(日)	2限	10:40~12:10	北川 哲雄 伊藤 晴祥	最終発表
46		3限	13:00~14:30		
47		4限	14:40~16:10		
48		5限	16:20~17:50		
			18:00~18:30		履修証明書授与式

3. 授業実施方法

- ・全ての授業は対面で行います。オンラインでの配信は行いません。
- ・講義は全て日本語で行いますが、英語の教材が一部含まれます。
- ・殆どの授業ではディスカッションを行いますので、出席だけではなく、積極的な発言(授業参加)が求められます。
- ・一部の授業では、ディスカッションにディスカッションパートナーが参加します。ディスカッションパートナーはディスカッションを円滑にするためのファシリテーターの役割を担います。また、ファイナンスなど専門知識が必要な授業でのディスカッションでは、ファイナンスの経験がない方に対するサポートの役割も担います。

4. 履修証明書

本講座は、文部科学省所管の学校教育法に定められた「履修証明プログラム」として実施します。全ての授業を受講し所定の要件を満たした方には、青山学院大学学長名で履修証明書が交付されます。履修証明書は、履歴書ならびにジョブ・カードに学歴として記載することができます。

5. 修了要件

以下の要件を全て満たすことにより履修証明書が交付されます。

- ・中間発表及び最終発表を除く全42回の講義のうち、34回以上の講義に出席すること。但し、30分以上の遅刻/早退は3回で1回の欠席として換算します。
- ・中間発表を行うこと。但し、中間発表に出席できない場合は、中間発表の資料を事前に提出することにより中間発表を行ったものとして扱います。

- ・最終発表を行い合格すること。但し、最終発表に出席できない場合には、事前に提出した最終発表資料に基づき最終発表の可否を判定します。

6. 講座実施場所

青山学院大学青山キャンパス (一部近隣の貸会議室)

7. 開講期間

2023年9月17日(日)～2023年12月17日(日)

原則として上記期間中の日曜日に実施

8. 出願期間

2023年6月15日(水)10:00am～2023年7月18日(火)23:59

※締切日を過ぎたものは受理できませんのでご注意ください。

9. 出願資格

出願の時点で企業等組織に勤務し、下記のいずれかに該当する者。

- ①大学を卒業した者。
- ②大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者。
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者。
- ④外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者。
- ⑤日本において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者。
- ⑥外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者。
- ⑦文部科学大臣が指定した専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以降に修了した者。
- ⑧本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者。

※上記⑧により出願を希望する者は、必ず「10. 出願資格審査」に従って審査を受けてください。

10. 出願資格審査

9. 出願資格⑧により出願しようとする者は、出願書類を提出する前に出願資格認定のための審査を受ける必要があります。

(1) 提出書類

- ①勤務先調査票 (<http://www.aoyamabs.jp/sustainability> の「出願書類」からダウンロードし

たエクセルファイルを入力し、アップロードしてください。)

②最終学歴の成績証明書 (PDF ファイルをアップロードしてください。)

③最終学歴の卒業証明書 (PDF ファイルをアップロードしてください。)

④出願資格審査申請書 (様式は任意)

実務経験・学習歴・研究歴等を入力し、記載内容を証明する書類や資料をアップロードしてください。特にサステナビリティ経営に関する実務経験を有する場合はそのことを明記してください。

※「14. 審査方法」の注意事項に準じます。ご確認ください。

①～③については、出願書類と重複しておりますが、「12. 出願書類提出方法」において指定している方法により再提出をお願いします。

(2) 出願資格審査申請期間

締切日：2023年6月27日(火)

回答日：2023年7月5日(水)

(3) 書類提出先

WEBによる提出

URL：<https://business.form-mailer.jp/fms/3052072f202450>

※審査結果はメールでの連絡のみで、電話での回答、書面の発行はいたしません。

11. 出願書類

①勤務先調査票 (<http://www.aoyamabs.jp/sustainability> の「出願書類」からダウンロードしたエクセルファイルを入力し、アップロードしてください。)

②顔写真 (出願フォームの注意事項を確認し提出してください。)

③最終学歴の卒業証明書、または修了証明書 (出願時はPDF ファイルをアップロードし、合格時に原本を提出してください。)

④最終学歴の成績証明書 (出願時はPDF ファイルをアップロードし、合格時に原本を提出してください。)

⑤在留カードのコピー (外国籍の方のみ、表面と裏面の両方のコピーを1つのPDF ファイルにして、アップロードしてください。)

⑥課題レポート (A4 サイズ4 ページ以内で、1つのPDF にしてアップロードしてください。)

1. サステナビリティ・マネジメント講座の志望理由 (2,000 文字以内)

2. サステナビリティ・マネジメント講座とあなたのキャリアプランはどのように関連していますか？サステナビリティに関して、今まで行ってきたことや考えてきたこと、および今後講座で学んだことをどのように将来のキャリア形成に活かすか述べてください。 (2,000 文字以内)

※レポートは必ず志願者本人が考えて作成すること。人工知能の自動生成や、他者によ

る作成が判明した場合は合格を取り消します

⑦任意提出資料 (1つのPDFにしてアップロードしてください。)

- ・語学能力の証明書のコピー
- ・推薦書
- ・自己PR書
- ・職務経歴書
- ・その他

12. 審査料

無料

13. 出願書類提出方法

WEB 出願

URL : <https://business.form-mailer.jp/fms/3b6f2a94201098>

14. 審査方法

書類審査

- ※ 提出された書類等の返却はいたしません。
- ※ 記載内容に虚偽や著しい誇張があった場合は、合格を取り消します。
- ※ 出願に際してお知らせいただいた住所、氏名、電話番号、生年月日等の個人情報は、①出願受付、②書類審査実施、③合否発表、④入学手続とこれに付随する業務を行うためにのみ利用します。

15. 合否発表

2023年7月26日(水)にEメールにて通知 (予定)。

合格者には「合格時の案内」を送付しますので、案内に沿って定められた期間内に入学手続を完了してください。

16. 入学手続き方法

受講料の納入 (クレジットカード決済または銀行振込)

60万円 (一般の方)

50万円 (本学学部卒業生、本学大学院修了者)

※消費税は課税されません。

証明書の原本の提出 (郵送)

- ・最終学歴の卒業証明書、または修了証明書

- ・最終学歴の成績証明書

合格者は2023年8月10日(木)までに受講料の納入をお願いします。

受講料の支払い方法および証明書(原本)の提出方法は、合格発表通知の際にお知らせします。

17. 定員および最少催行人数

定員: 24名

最少催行人数: 14名

合格者数が最少催行人数に満たない場合には、講座は開講されません。ご了承ください。その場合は、合否発表の際にお伝えいたします。

18. 留意事項

- ①当履修証明プログラム出願者、受講者および修了者の個人情報、出願者、受講者および修了者管理のため、当履修証明プログラム事務局の株式会社アイビー・シー・エスに提供いたしますのでご了承ください。
- ②当履修証明プログラムと他大学・大学院、本学学部・大学院および他プログラムと併せて在学することはできません(二重学籍の禁止)。
- ③合否に関する問い合わせには一切応じません。

問い合わせ先

青山学院大学庶務部社会連携課

agu-socialcoop@aoyamagakuin.jp